

今年で
22年目！/ 小学生と企業が環境行動に取り組みました！
～市内企業からの協賛金170万円が海外の環境保全活動に活かされます～



横浜市立小学校の児童が、夏に「エコライフ・チェックシート」を使って、省エネや生物多様性の保全、3Rなどの環境行動(=『エコ活。』)に取り組む「こども『エコ活。』大作戦！2025」にチャレンジしました。平成16年度から開始し、今年で22年目の取組になります。

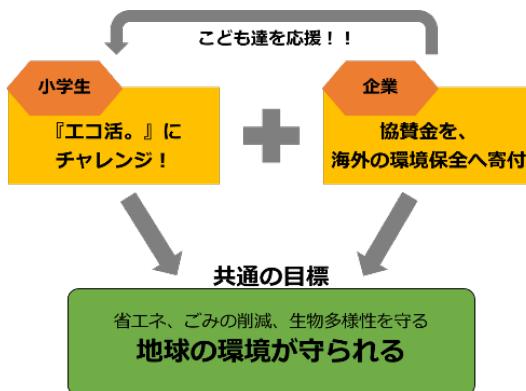
この取組を応援してくださる企業の皆様からの協賛金は、国連WFP協会を通じて、国連の食料支援機関「WFP世界食糧計画」が行うコートジボワールでの環境保全活動に役立てられます。

開催まで500日を切った、市民の皆様と共にくる国際園芸博覧会「GREEN×EXPO 2027」に向けて、今後も小学生・企業と一体となって、環境行動に取り組んでいきます。

小学生の環境行動

横浜市立小学校の児童が、エコチル横浜版7・8月号を通して、省エネや生物多様性の保全、3Rなどの環境行動(=『エコ活。』)に取り組みました。本市では、『エコ活。』の取組をはじめ、今後も暮らしの中で小学生が環境にやさしい行動ができるよう、エコチル横浜版※等を通して発信していきます。

- 参加学校数：83校
- 参加児童数：3,362人



『エコ活。』の仕組み



「エコチル横浜版」7・8月号紙面

※エコチルについて <https://www.ecochil.net/about/>



企業の応援

横浜市環境保全協議会及び横浜商工会議所の会員88社・団体の皆様から、小学生の取組の応援として、計170万円を御協賛いただきました。この協賛金は、国連WFP協会を通じて、WFPが行うコートジボワールでの環境保全活動につながるプロジェクトに寄附されます。

裏面あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



海外での環境保全活動

今年度は、横浜で第9回アフリカ開発会議(TICAD9)が開催されたことも踏まえ、企業の皆様からの協賛金を、WFPによるコートジボワールでの環境保全活動に役立てます。

アフリカ西部に位置するコートジボワールは、気候変動による影響を受けやすい地域であり、生物多様性・農業・農家の生活に深刻な被害が及んでいます。WFPは、土地緑化・保護や水源へのアクセス強化などの環境保全活動を通じて、コートジボワールの人びとの日々の生活をサポートしています。

- 土地の緑化

半月型農法を用いて雨水を溜め、緑を育てる

- 水源へのアクセス

太陽光発電を用いたポンプ式の水汲み場を整備し、農村での清潔な水へのアクセスを容易にする

- 気候変動対策

AI 技術を活用しリアルタイムの気象情報を得るなど地域レベルで農家を支援し、農業コミュニティの持続可能で強靭な未来を築く



半月型農法の様子（写真はニジェール）



ポンプ式の水汲みを
使用する様子



気候変動課題に対し力才オ農家と
対策を練っている様子

お問合せ先

(こども『エコ活。』大作戦！について)

みどり環境局環境活動事業課長

森山 晴美 Tel 045-671-3830

(企業の応援について)

横浜市環境保全協議会 事務局

横浜商工会議所 産業振興部 商工振興課

山本 Tel 045-671-7470

(国連WFP協会への寄付について)

国連WFP協会 事業部

森田 美香 Tel 045-221-2515



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

